

ちばぼろ

(一社) 千葉県冒険遊び場ネットワーク会報誌

ち いきのなかで ば んばんあそべる ぼ うけんあそびばを う ーんとふやそ

令和3年6月発行

テーマ 「遊び」と「場」の力を考えよう

- 祝！IPA アワード受賞
- 千葉県冒険遊び場ネットワーク理事紹介
- 新しい遊び場づくりが始まりました
- 2021 年度プレーワーカー研修 BASIC コースについて



子どもたちにより幸せな子ども時代を

発行 一般社団法人千葉県冒険遊び場ネットワーク

■IPA アワードを千葉県冒険遊び場ネットワークが受賞しました。

IPA アワードは子どもの遊ぶ権利のための国際協会 (IPA) が主催の賞で、ちばぼうは「県内の遊び場のネットワークを活かし、市民で考え、子どもの安心と子どもの遊ぶ権利をネットワークで守った」ということが評価されました。

◆遊ぶ権利は守られるもの

遊びは基本的に子どもたちに必要なものです。
栄養や十分な睡眠と同時に、健全な成長には欠かせません。
必要が満たされなければ、子どもたちは学び、成長することができないのです。

2020年4月28日から2020年5月6日に、新型コロナウイルスによる活動自粛中の「子どもの声」アンケートを実施し、調査結果を公開しました。
(回答数 389 件)

意識改革として千葉県冒険遊び場ネットワーク団体や一般の方に伝えることで、地域の子どもの遊びの状況を知り、地域での会話やネットワーク団体から適切な解決策(地域の状況を考慮し、安全対策をし、冒険遊び場を開くなど)を考えようとする自発的な働きも出てきました。

また、遊び場には来られない子どもたちにも向けて「イエプレ!」(家の中で遊ぶ!) Youtube チャンネルを作成しました。

【子どもの遊びの権利に対してちばぼうが実践したこと】

- 1) コロナ禍のもと、子どもたちの声を聴いた。
- 2) ネットワークを活かし、地域の子どもの遊びの状況を調査し、共有した。
- 3) イベントではない、いつもの遊び場を開催することにより、遊びの権利を保障した。

ACTION!
• We suddenly had to think and act in order to support Children's rights to play
• on the other hand had to be cautious(aware?) of Covid-19.
• To handle these difficult issue, luckily we had an advantage in usual activities.

ACTION 1 Hear Children's Voice



ACTION 2 IE PLAY



ACTION 3 Open the playground!



Weaving a Safety Net by ourselves



The Adventure Playground Network of Chiba Prefecture(APNC)

Director: Miyuki FURUKAWA / NAOKO TAKAGI

Supporter:

Mitsunari TERADA (Ph.D., IPA-Japan board member, Chiba Univ.)

Mariia ERMILOVA (Ph.D., Research Fellow, Chiba Univ.)

プレゼン資料作成、当日の所属プレーパークのプレゼン、質問に答えるという役割を担いました。IPA 日本支部の寺田さんにご指導いただく中で、コロナ禍で「市民が支え守った子ども達の遊びへの受賞」という観点がクリアになり、私有地での開催や地域住民が運営していること等、市民の多様な関わりかたがあることを理解してもらえました。Web 会議直前、世界各地から参加者が集まってきて「子どもの遊ぶ権利を守る」ことが世界的に大きな課題なのだ実感しました。「NAOKO 達は無償で運営してるの?」と質問され、「そうだ」というと「そういう人たちが Play Hero っていうのよ!」とみんなが讃えてくれました。もう1つのレポートが、環境の厳しさが比べものにならないウガンダの難民キャンプだったことも忘れられないです。機会を与えて下さってありがとうございました。

(富里ふくろうプレーパーク/高木菜穂子)

Supporter: Mitsunari TERADA (IPA-Japan)

Special Thanks : Mariia ERMILOVA

【千葉県冒険遊び場ネットワーク理事の紹介】

■古川美之

(一社)千葉県冒険遊び場ネットワーク代表理事
NPO 法人四街道プレーパークどんぐりの森 代表

子どもたちに勇気を与える言葉の一つは「一緒に」です。初めてのことは子どもも大人も不安でいっぱい。泥んこだったり、木工だったり、初めての場所まで遊んでみることも。そんな時、「一緒にやってみよう」と声をかけてもらえたらどんなに勇気が湧くでしょう。大人もそうですね。遊び場を作りたいと思って、何から始めていいのかわからない、思いは溢れていても、最初の一步が踏み出せない。そんな時の「一緒にやってみよう?」が千葉県遊び場ネットワーク ちばぼうです。大人も楽しみながら、遊び場作りを楽しんでいる。そんな姿を子どもたちにも見てもらえたら、子ども達が大人になった時、また遊び場を作りたい。それが次世代に繋げていくことだと思っています。遊び場作りを楽しみましょう!一緒に!!



(写真左より相澤、古川、和田)

■相澤孝紀

(一社)千葉県冒険遊び場ネットワーク副代表理事
NPO 法人プレイフルエンタープライズわかば 代表

新型コロナウイルスによる生活様式の変化が顕著になって1年以上が経ちます。今まではプレーパークを求めていなかった層の人たちが「外で過ごせる場」を求めて遊びに来る機会が増えたように感じます。新型コロナの流行が一つのきっかけとなってプレーパークと交わる人たちがでてきたことに、不思議な縁を感じてしまいます。昨年「ちばぼう」で取った「活動自粛中における子どもの声アンケート」では、緊急事態宣言による休校によって、家族という時間が増えたことを良かったと感じている子たちがいました。ストレスの増大を心配していた私にとって、驚きの結果とも言えるものでした。思えば2019年の大型台風が千葉に上陸した時もこの感覚がありました。千葉に甚大な被害をもたらした台風15号は、私の勤めるプレーパークをも例外ではなく、公園内の木を薙ぎ倒して景色を一変させました。そんな時に、「プレーパーク、大変なんじゃない?」と手を差し伸べてくださった大人たち、そして子どもたちがいました。横倒しになった大木を前にして立ち尽くすしかなかった私に、「ちょっとずつ出来ることをやろうよ」と一緒に枝葉を拾ってくれた人たちがいました。「こんな時だけど、みんなが集まってプレーパークに帰って来られて、それはそれで楽しいね」と笑い合うことができました。困難の渦中だからこそ鮮明に感じる「人との繋がり」は、とっても重要なことなのだと改めて感じさせられます。一刻も早く収束してほしいと願う反面、今だからこそ得られる繋がりも大切にしたいものです。

■和田京子

(一社)千葉県冒険遊び場ネットワーク副代表理事
NPO 法人市川子どもの外遊びの会 代表

プレーパークと出会い、関わるようになってから丸10年が経ちました。元々は学校に行っていない子どもやひきこもり経験のある若者と関わる仕事をしていて、生きづらさを抱える子どもたちが少しでも幸せになるための居場所づくりをしようと思っていました。そんな時に、川崎市にある子ども夢パークとの出会いがあり、そこからプレーパークに関わるようになりました。それまで関わっていた活動とプレーパークの大きな違いは、「参加者を選ばない」ということでした。親の理解や協力(費用を払うなど)がなくても参加できる、決められたことに従わずに自由に遊べる、ということがなにより魅力でした。子どもが自分の意思で参加することを選べる場所って他にあまりないと思います。そして、プレーパークについて知れば知るほど、学べば学ぶほど、その奥深さに感動し、気がついたらどっぴりとプレーパークの活動にはまっています。今は、このプレーパークの良さを少しでも多くの人に知ってもらって、プレーパークをもっともっと広げていきたい、という思いでちばぼうの活動に関わっています。プレーパークの奥深さについて知りたい方は、ぜひプレイワーカー研修で学んでみてください!

■新しい遊び場づくりが始まっています。

千葉県内各所で新しい遊び場づくりが始まっています。

ちばぼうでは、情報共有会「こあつまり」の開催や、プレイワーカーが実際に現地を訪れて一緒に場づくりを考える等、遊び場の立ち上げ支援も行っています。



めがねと2人で富津市民ふれあい公園に行ってきました!公園内の一角の森を手入れしてプレーパークで使えるようにと考えているそうで、どの木を残して、どの木を切るかアドバイスがほしいとプレイワーカーである僕ら2人に声がかかったからです。

依頼主の石田さんは毎年このふれあい公園でプレーパークを開催している方です。「森の手入れも何かに使ってくれる目的があると作業もはかどるからね」とやる気満々。「ツリーハウスとか橋とか作って地上ではない場所で生活できたら楽しそうじゃない」と壮大な夢と遊びどころたっぷりです。少しずつ手入れしているそうですが30年間手つかずの森は隙間なく背の高い木がぎっしりと生えていました。

とりあえずぐるっと一周してみても、入り口はこの辺で受付はこのあたりに置いて…とプレーパークのイメージができてきたところでブランコやモンキーロープを実際に張ってみました。実際に遊具を付けていくうちに、光の入る広場があったらいいよね、逆に少し木が密集した場所があると秘密基地とか作りたくなるよねなど、だいぶイメージができてきました。

登れたりロープが掛けられそうな枝ぶりの良い木を残してもらえると、ロープ遊具を張る場所には落下してケガをしないよう切り株が地上に出ないようにお願いしました。また切り株は見えづらいと危険もあるのであえて見えるように、また遊びにも使えるようにと地上から1m以上残して切ってみてはと提案をしました。

正直、めがねも僕も初めてのことでどうしたらいいのか戸惑もありましたが、終わってみるとこの場所でどんな遊びが繰り広げられるかわくわくしました。

一番うれしいのは、石田さんが子どものことや遊びを考えていろいろと考えてくれていることでした。石田さんのような素敵な方やこんな場所がもっと増えるといいなと思います。

(撮影・記/プレイワーカー 中島良介)



●運営者インタビュー●

初めまして。千葉大学3年生の西村薫です。2020年の夏に西千葉公園にてプレーパークを初めて開催させて頂き、その後は習志野市の香澄公園で2ヶ月に一度くらい開催しています。子育てをしたことがない大学生達が大人よりも子どもたちと近い目線で接すること、子どもたちの挑戦に寛容であること、子どもたちとちょうど良い距離感の関係で打ち解け合うことを特徴とし、パワーあふれる明るくて楽しい場所を目指しています。キーワードは「等身大」であること。周りの評価や第3者の目線を気にせず、自分を一番好きになれることを大事にしています。

大学生がプレーパークを立ち上げることは無謀だと思われたかもしれませんが、自分への挑戦も含めやってみようと思った時に、『ちばぼう』のネットワークの方から「ぜひ立ち上がって欲しい」と背中を押して頂き、知識や情報を沢山教えて頂くことができました。同時に前年度のプレイワーカー研修で、リスクやハザードについての理解や、遊びのPDCAサイクルを作ること、遊びの種について学びました。ちばぼうのプレイワーカー認証をうけたことで更に気持ちを引き締めています。コロナ禍で様々な制限がありますが、これからも子どもたちが等身大で過ごせる居場所を全力で作っていきたいと思っています。今、学生団体Mapとして新たなチームを作っていて、西千葉公園でも6月に開催予定です。

(千葉大学・香澄公園プレーパーク/西村薫)



出張研修・講演承ります

- ・プレイワーカー派遣
 - ・出張プレーパーク開催
 - ・遊び道具の貸し出し など
- (講演内容例)

「プレーパークとは」「リスクとハザード」
「子どもの発達」「遊び研究」「ロープワーク」など

今後の予定

県内プレーパーク情報共有会【こあつまり】

- ・6/14(月) 千葉県冒険遊び場ネットワーク総会
こあつまり
- ・8/9(月) こあつまり
- ・10/11(月) こあつまり
- ・12/13(月) こあつまり
- ・2/14(月) こあつまり

【プレイワーカー研修】

- ・7/21(水) プレイワーカー研修 Basic 第2回
- ・9/15(水) プレイワーカー研修 Basic 第3回
- ・11/17(水) プレイワーカー研修 Basic 第4回①
- ・11/23(火祝) プレイワーカー研修 Basic 第4回②
- ・1/19(水) プレイワーカー研修 Basic 第5回

※プレイワーカー研修 Basic の詳細については
次のページをご覧ください。

■2021 年度千葉県プレイワーカー研修 BASIC コース開催します。

毎年ご好評いただいているプレイワーカー研修 BASIC コースを今年も実施します。
ご要望にお応えして、今年度は平日昼間以外の時間帯にも開催します。ぜひご参加ください。

◇参加費 1,500 円/回
(学生 1,000 円)

※資料代込み

◇定員 各回 30 名

◇講師 県内のプレイワーカー
運営スタッフ等

*どなたでも参加できます。

*原則オンライン講座です。

*第4回は実地での研修となります。

オンライン講座では

オンライン会議アプリ Zoom を使用します。

Zoom アプリの使用できる端末を

ご用意下さい。

通信料は各自ご負担ください。

第1回	5/19(水)	プレーパークについて
	①10:00~②19:00~	プレーパークの理念、共通理解、社会的な役割、プレイワーカーの役割や資質について
第2回	7/21(水)	リスクとハザード
	①10:00~②19:00~	開催していく中でリスクとハザード、不測の事態への対応、事例検討
第3回	9/15(水)	子どもの発達
	①10:00~②19:00~	子どもの遊びと発達、感覚統合や非認知能力について
第4回	①11/17(水) 10:00~ ②11/23(火祝) 10:00~	遊び研究(実地研修) 遊びの体験、子どもへの関わり方について
		※天候等により日程を変更することがあります。 実施場所、変更についてはSNS等にてお知らせします。
第5回	1/19(水)	プレーパークの運営
	①10:00~②19:00~	振り返りの方法や団体運営について

※講座は各回2時間を予定しています。

※各回ごとにレポートを提出し、全ての講座を受講していただくと
講座の修了証として「千葉県プレイワーカー認証」を得られます。
(受講有効期限3年)

※変更等は ChibaBo! の facebook でお知らせします。

講座のお申込み
詳細はこちらから →
メールでも
申込可能です。
chibabo.net@gmail.com



～ 受講者の声 ～

母親かつ、ボランティア活動などで子どもと関わる生活を送る中で、我が子以外の子どもや大人と接する時に「これはどう対処したらいい?」ということが度々起こります。
「答えはないんだよね」という研修で衝撃を受けました。
そう言われてみれば、現場では同じことが起こりません。
子ども一人一人違うんだから起こることが違うのは当然。
マニュアル通りの howto は通用しません。
「遊ぶ」に含まれたたくさんの意味や子どもにとってのリスクとハザードは何か?現場に立ってみて研修で言っていたことはこれだったか!と反芻して自分で納得できる。
現場→研修→現場→研修→現場...この繰り返しで子どもたちを真ん中にした遊び場へ向かっていけるんじゃないかという自信に繋がりが活動の支えになりました。
現場に立つ時になにを見えるのか...意識が変わり動きも変わりました。
現場で生きる研修をこれからも受けていきたいと思います。
(成田市在住 武田さやかさん)

【事業内容】

遊び場をつくる人を育てます

プレイワーカー研修事業

遊びの大切さを伝えます

遊び場についての情報交換

遊びについての講演会

出張プレーパークの開催

新たな遊び場づくりを応援します

交流会「こあつまり」の定期開催

遊び場の立ち上げに必要な手続き等のサポート



●学生ボランティア募集中●

いつでも・だれでも遊びに来ることができ、子どもたちが自主的・自発的に遊ぶ「子どもたちの遊び場」で、時に一緒に遊び、時に話し相手にもなる学生ボランティアを募集しています。遊びを通して様々な経験を得る機会や場所を作るマネージャー「プレイワーカー」や地域の大人とともに活動してみませんか?お気軽にお問い合わせ下さい。

【千葉県冒険遊び場ネットワークプレイワーカー認定者】(順不同・敬称略)

◆2019 年度◆

南山聡子/小林晶子/武田さやか/永野智子

◆2020 年度◆

高木菜穂子/佐藤康子/山根真紀/森田葉子/西村薫/石井遥/福永智佳子/
豊田千春/齋木敦子/関口笑子/大塚和美/城順子/中根 麻由美/檜木将也/
檜木純花/山谷友美

【千葉県冒険遊び場ネットワーク会員】(順不同・敬称略)

◆正会員・個人◆和田京子/石田晶久/関口笑子/古川美之/相澤孝之/城順子/
羽富道男/大塚和美/前田はる香/中根麻由美

◆正会員・団体◆NPO 法人市川子どもの外遊びの会/コロボックルの森/特定非営利活動法人東いちばらエコミュージアム/成田おむすびプレイパーク/NPO 法人プレイフルエンタープライズわかば/NPO 法人四街道プレーパークどんぐりの森/プレーパーク船橋/特定非営利活動法人 i-net/富里ふくろうプレーパーク/特定非営利活動法人八千代市民プレーパークの会/柏の葉しぜんあそびの会/カモミールの森

『千葉県冒険遊び場ネットワーク』は
ゆるやかにつながってきた千葉県内プレーパーク活動団体のネットワークをさらに広げ、充実した活動をしていくために、2011 年 6 月から県内市民団体が協力して設立した団体です。
ちばぼうでは、情報交換や合同の研修会を行い、各団体の課題解決や、それぞれの団体がえたことを他に活かしていくことを目的としています。

【会員募集】

◆正会員 中心になって運営に関わります。

【団体】年額 3000 円 【個人】年額 2000 円

◆賛助会員 運営を資金面でサポートします。

【団体・個人】一口 1000 円以上

【振込先】ゆうちょ銀行

名義: シャ)チバケンボウケンアソビバネットワーク

振替口座: 00290-7-91266

(他銀行から振込の場合)〇二九 当座 0091266

総合口座: 10530 70940961

(他銀行から振込の場合)〇五八 普通 7094096

【お問い合わせ】

(一社)千葉県冒険遊び場ネットワーク (ChibaBo!)

〒264-0037 千葉県千葉市若葉区源町 54-1
千葉県子どもたちの森公園

TEL: 043-254-2328

メール: chibabo.net@gmail.com

Facebook: https://www.facebook.com/chibabo.net

